



ロータリー奉仕デー



去る11月13日(土)、「ふれあい市野川クリーンアップ作戦」が開催された。これは、東松山市と吉見町の間を流れる一級河川市野川沿岸にて、ロータリークラブ、自治会、学校、商工会、企業等が協力して清掃活動を毎年行っているものである。今回で18回目となる。コロナ前は600人を超える参加者があり、地域交流イベントとして、豚汁等の振舞いや、川に親しめるよう市野川に生息する魚の展示なども行

われてきた。近年SDGs（持続可能な開発目標）やESG（環境・社会・ガバナンス）が叫ばれ、社会に良いことをすると企業イメージ・価値の向上に資することから、地元の企業や工場も多く参加している。令和元年度には、埼玉県より彩の国埼玉環境大賞奨励賞を頂戴した。

しかし、今年度は昨年度に続きコロナ禍ということで、東松山ロータリークラブ、東松山むさしロータリークラブ、

比企の川づくり協議会、建設業協会比企支部の4団体のみに規模を縮小して開催（150名弱参加）。毎年開催しているためゴミは減ってきているが、今回もプラごみが圧倒的に多かった。トラック1台分のゴミが収集できた。

市野川沿岸をキレイにすることで、ゴミは捨てづらくなる。ゴミをポイ捨てる者は運を捨て、ゴミを拾う者は運を拾う。「ゴミを拾うと川だけでなく、心もキレイになる」

ふれあい市野川クリーンアップ作戦

東松山RC
東松山むさしRC



文：山口和範 東松山
Kazunori Yamaguchi
東松山RC 幹事